

平成27年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年5月1日

上場会社名 株式会社 デイトナ
 コード番号 7228 URL <http://www.daytona.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年5月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 鈴木 紳一郎
 (氏名) 中嶋 哲司

TEL 0538-84-2200

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第1四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第1四半期	1,173	△9.0	△1	—	△4	—	△6	—
26年12月期第1四半期	1,289	6.9	21	440.1	18	179.8	10	—

(注) 包括利益 27年12月期第1四半期 △13百万円 (—%) 26年12月期第1四半期 9百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第1四半期	△3.03	—
26年12月期第1四半期	4.76	4.73

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第1四半期	5,120	2,374	45.3
26年12月期	4,946	2,417	47.6

(参考) 自己資本 27年12月期第1四半期 2,318百万円 26年12月期 2,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	0.00	—	14.00	14.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,921	5.1	63	△52.4	55	△56.9	32	△55.7	15.44
通期	6,090	7.7	317	△9.0	301	△16.2	199	△6.6	94.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期1Q	3,602,600 株	26年12月期	3,602,600 株
② 期末自己株式数	27年12月期1Q	1,497,972 株	26年12月期	1,497,972 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期1Q	2,104,628 株	26年12月期1Q	2,104,628 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する根拠のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「経営成績に関する分析」(次期業績の見通し)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用の改善など、緩やかな景気回復基調が続く中、個人消費の弱さや為替の動向には先行き不透明感を残す状況となりました。

二輪車業界では、バイクシーズンの始まりに合わせて例年3月末に開催されるモーターサイクルショーが大坂、東京共に過去最高の来場者数を記録するなど、業界の活性化の兆しが見られました。

当社グループにおいては、本格的なバイクシーズン前の第1四半期は費用が先行し、売上高、利益は低くなる特性があります。国内拠点卸売事業では売上高は消費税増税前の駆け込み需要のあった前年を下回ったものの、予算はクリアし比較的順調な滑り出しとなりました。小売事業では前年に進めた在庫や経費の削減により利益率は向上しましたが、売上高が前年を大きく下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は11億73百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業損失は1百万円（前年同四半期は営業利益21百万円）、経常損失は4百万円（前年同四半期は経常利益18百万円）、四半期純損失は6百万円（前年同四半期は四半期純利益10百万円）となりました。

[国内拠点卸売事業]

国内拠点卸売事業においては、前年の消費税増税前の駆け込み需要と比較すると売上高等は減少となったものの、比較的安定した天候や原油安など追い風要因もあり、売上高が順調に推移したことと、懸念していた円安による仕入価格の上昇も、年初からやや円高方向に進んだことにより、利益率も確保できたことで、売上高は8億18百万円（前年同四半期比3.1%減）、セグメント利益は35百万円（前年同四半期比3.8%減）となりました。

[アジア拠点卸売事業]

現地卸商への出荷増、また新商品の投入などにより、売上高は42百万円（前年同四半期比20.5%増）となりましたが、利益面では新商品立ち上げや、人員の増員等による販管費の増加もあり、セグメント損失は0.8百万円（前年同四半期はセグメント損失0.9百万円）となりました。

[小売事業]

小売事業においては、仕入や各種経費の見直し等により利益率の改善が進みましたが、消費税増税前の駆け込み需要のあった前年同期四半期に比べると、売上高が大きく減少したこともあり、売上高は3億23百万円（前年同四半期比23.5%減）、セグメント損失は38百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

[その他]

太陽光発電事業は本社屋上設置の300kWと、本社敷地内地上設置の500kWシステムの合計800kWであります。当第1四半期は天候が比較的良く、日照が多かったため、売上高は10百万円（前年同四半期比16.9%増）、セグメント利益は減価償却費の減少があり2百万円（前年同四半期比218.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ6.8%増加し、25億75百万円となりました。これは、たな卸資産が1億49百万円増加したことなどによります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末に比べ0.5%増加し、25億45百万円となりました。これは、有形固定資産が6百万円、無形固定資産が6百万円増加したことなどによります。この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1億74百万円増加し、51億20百万円となりました。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ17.9%増加し、16億99百万円となりました。これは、短期借入金が2億13百万円増加したことなどによります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3.7%減少し、10億47百万円となりました。これは、長期借入金が増加しましたが、社債が58百万円減少したことなどによります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2億17百万円増加し、27億46百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1.8%減少し、23億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月13日付「平成26年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表しました当期の業績予想については、おおむね予想の範囲での推移となっております。しかしながら今後の円安の進行状況、二輪車の特性上、天候による影響、また、経済環境の不確定要因により、業績への影響が発生する場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	550,946	454,493
受取手形及び売掛金	426,864	483,611
たな卸資産	1,286,418	1,435,970
その他	157,226	211,164
貸倒引当金	△9,245	△10,103
流動資産合計	2,412,211	2,575,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	691,180	695,671
土地	1,483,945	1,483,602
その他(純額)	274,367	277,033
有形固定資産合計	2,449,493	2,456,307
無形固定資産		
	44,017	50,803
投資その他の資産		
その他	41,229	39,265
貸倒引当金	△805	△805
投資その他の資産合計	40,424	38,460
固定資産合計	2,533,935	2,545,571
資産合計	4,946,147	5,120,708
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,457	258,938
短期借入金	878,138	1,091,677
賞与引当金	16,355	43,873
その他	412,365	304,604
流動負債合計	1,441,317	1,699,093
固定負債		
社債	186,960	128,120
長期借入金	798,960	822,344
退職給付に係る負債	1,911	2,091
その他	99,201	94,580
固定負債合計	1,087,032	1,047,135
負債合計	2,528,349	2,746,229

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,454	412,454
資本剰余金	341,182	341,182
利益剰余金	2,365,673	2,329,820
自己株式	△747,130	△747,130
株主資本合計	2,372,180	2,336,327
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△16,837	△17,772
その他の包括利益累計額合計	△16,837	△17,772
少数株主持分	62,454	55,924
純資産合計	2,417,797	2,374,479
負債純資産合計	4,946,147	5,120,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
売上高	1,289,189	1,173,322
売上原価	830,786	731,504
売上総利益	458,402	441,818
販売費及び一般管理費	437,128	442,915
営業利益又は営業損失(△)	21,274	△1,096
営業外収益		
受取手数料	1,974	1,835
試作品等売却代	53	2,795
その他	1,822	1,840
営業外収益合計	3,850	6,471
営業外費用		
支払利息	4,529	4,222
為替差損	532	4,282
その他	1,364	1,157
営業外費用合計	6,427	9,662
経常利益又は経常損失(△)	18,696	△4,287
特別利益		
固定資産売却益	765	9
特別利益合計	765	9
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	19,462	△4,278
法人税、住民税及び事業税	255	19,454
法人税等調整額	12,151	△10,818
法人税等合計	12,407	8,636
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	7,055	△12,914
少数株主損失(△)	△2,968	△6,525
四半期純利益又は四半期純損失(△)	10,023	△6,388

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主 損益調整前四半期純損失(△)	7,055	△12,914
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,115	-
為替換算調整勘定	1,212	△939
その他の包括利益合計	2,327	△939
四半期包括利益	9,382	△13,853
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,346	△7,323
少数株主に係る四半期包括利益	△2,963	△6,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	831,112	26,830	422,575	1,280,517	8,671	1,289,189	—	1,289,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,569	8,500	127	22,197	—	22,197	△22,197	—
計	844,681	35,331	422,702	1,302,715	8,671	1,311,386	△22,197	1,289,189
セグメント利益又は 損失(△)	36,398	△986	△15,590	19,820	938	20,758	515	21,274

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額515千円には、セグメント間取引消去1,189千円、棚卸資産調整額△894千円、固定資産調整額199千円、貸倒引当金調整額20千円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	国内拠点 卸売事業	アジア拠点 卸売事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	802,942	36,961	323,277	1,163,182	10,140	1,173,322	—	1,173,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,723	5,616	75	21,414	—	21,414	△21,414	—
計	818,666	42,577	323,353	1,184,597	10,140	1,194,737	△21,414	1,173,322
セグメント利益又は 損失(△)	35,011	△846	△38,108	△3,943	2,988	△955	△141	△1,096

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△141千円には、セグメント間取引消去421千円、棚卸資産調整額△775千円、固定資産調整額201千円、貸倒引当金調整額11千円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。